

(様式)

## 愛知県子ども会活動事例応募用紙

市町村名	知多市	子ども会名	<input type="checkbox"/> 単子 <input checked="" type="checkbox"/> 校区 (☑点を記入してください) 佐布里校区子ども会	
事業名	体験型レクリエーション活動			
活動項目	<input type="checkbox"/> 地域との交流 <input type="checkbox"/> スポーツ活動 <input type="checkbox"/> 仲間づくり・技術習得 <input checked="" type="checkbox"/> 遊び体験 <input type="checkbox"/> 自然体験 <input type="checkbox"/> 異年齢交流 (主な該当項目1つに☑点を記入してください)			
活動の内容 ・事業の目的 ・プログラムの内容	妖怪をテーマに「封印された校長先生を救い出す」ストーリー型の体験型レクリエーション活動を行いました。 生涯スポーツ(ポッチャ・モルックなど)を妖怪競技としてアレンジし、さらに手づくりの福笑い、魚釣り、なぞなぞなどの遊びを取り入れることで、低学年から高学年まで楽しめる交流型プログラムを構成しました。			
日 時	令和7年11月1日(土) 時間14時00分～16時00分	場 所	佐布里小学校体育館	
予 算	130,000円	参加人数	子ども95名 大人(付き添い)30名 スタッフ役員20名	
実施してよかったこと、楽しいと感じたこと、また、困った点等をどのように工夫したか等	妖怪をテーマにしたストーリー性があったことで、子供達が目的をもって競技に取り組み、学年を越えた交流が自然に生まれました。また、体を動かす楽しさに加え、ゲーム性や達成感も感じられる活動となり、役員、スタッフも演出を取り入れたことで子供達と一緒に楽しめる活動になりました。 物価高騰の中で少しでも子供達に多くの景品を用意するために、役員で価格調査や調整を行ったほか、地域のスポーツ委員よりレクリエーション用品を借りることで費用を最小限に抑えました。			
子どもたちの成長ぶりや心の変化(感想)等	子供達の大好きな校長先生を救ったことが分かった時の子供達の楽しそうな様子が微笑ましかったです。子供同士でサポートする様子が見られ、協調性や思いやりの心が生まれたことを実感できました。「また参加したい」という声も多く、子供達にとって成功体験となる活動になりました。			
HP掲載承諾 <input checked="" type="checkbox"/> 済 (㍷点の記載必須)		HP掲載承諾 <input checked="" type="checkbox"/> 済 (㍷点の記載必須)		
				